

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 高蔵 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和5年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

＜男子＞

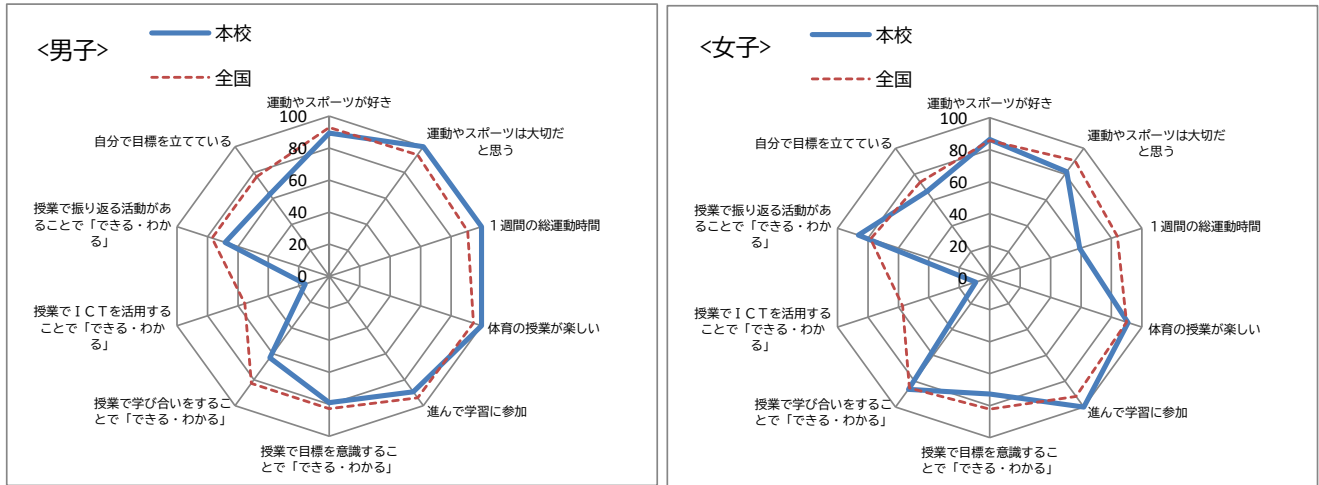
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	19.00	33.99	40.61	46.91	9.48	151.16	20.51	52.60
本市	16.30	19.17	34.49	40.75	49.29	9.48	152.47	21.39	53.38
本校全国平均以上の種目				○			○	○	

＜女子＞

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.02	18.05	38.47	38.74	36.81	9.71	144.34	13.22	54.29
本市	16.35	18.36	38.88	38.78	39.26	9.70	145.97	13.51	55.18
本校全国平均以上の種目	○					○	○	○	

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

運動に関しては、約90%の児童が「運動やスポーツが好き」と回答している。また、体育の授業に関しては、ほとんどの児童が「体育の授業は楽しい」と回答している。ただ、体育学習におけるICT活用や、女子の1週間の総運動時間が少ないことには大きな課題がある。また、「朝食を食べない日もある・食べない日が多い」「睡眠時間が7時間未満」「テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコン等の画面を1日4時間以上見ている」と回答した児童の割合が全国平均より高く、生活習慣の改善を図っていく必要がある。。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

学習カードを活用し、自分自身の運動の目標（ねらい・めあて）を意識して学習に取り組めるようにする。また、振り返りの時間を十分に確保することで、「できた」「分かった」が実感できるようにする、さらに、総運動量を増やすためのアイデアや体育科学学習におけるICT機器の効果的な活用方法について、職員研修をもったり授業公開をして共有したりするなどして授業改善を図る。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

毎年行っている異学年交流（縦割りのなかよしグループ）活動を、本年度より、全校で楽しみながら大縄跳びに取り組むようにした（パワーアップタイム）。2学期は中間発表会、3学期には最終発表会というゴールを設定し、保護者の参観・応援も得ながら取り組んだことで、一定以上の成果があった。この取組をさらにブラッシュアップしながら次年度以降も続けることで、児童一人一人の運動意欲の維持・継続を図っていく。